

TOKYO report

2019 (10月~12月) 宮崎県東京事務所 Vol. 54

~このレポートでは、首都圏における宮崎の動きや東京事務所の活動を中心にお知らせします~

みやざきひなたフォーラム

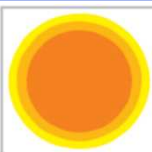
【県人会関係】

10月19日(土) ハリウッドプラザ(港区六本木)

首都圏における郷土人会等の各団体や宮崎ゆかりの方々との新たな交流の場として、「ひなたフォーラム」が六本木ヒルズのハリウッドプラザで開催されました。

ひなたビジネス未来セミナーに始まり、松田丈志氏トークショー、在京宮崎県人会総会、拡大懇親会、和菓子とお茶の振舞い、そしてひなた音楽フェスと盛りだくさんの内容を通じて、多くの来場者の皆さまとともに、地元宮崎から知事や県議会議長なども参加し、交流を深めました。

多くの在京各団体の共催や企業の協賛、市町村の協力を受け、各イベントはもちろん、郷土料理や抽選会、物販も充実したものとなり、参加した皆さまにとって東京に居ながら宮崎を感じるこの日の一日となりました。



日本の
ひなた
宮崎県

宮崎県東京事務所は、千代田区平河町の都道府県会館15階にあり、官公庁等との連絡調整・農林水産物等のPR・観光PR・企業立地促進・就職相談・移住の促進などの業務を行っています。

情報誌、パンフレット等も多数取りそろえていますので、気軽にお立ち寄りください！

15階ここです！



【国立能楽堂神楽公演『銀鏡神楽』】

10月10日(木) 国立能楽堂(渋谷区千駄ヶ谷)

2020年東京オリンピック・パラリンピック開会式をはじめ、その他関連セレモニーでの「天岩戸開き神話」の採用や、神楽のユネスコ無形文化遺産登録に向けた取組の一環として、首都圏で「みやざきの神楽」の魅力を発信するため、国立能楽堂にて神楽の公演を行いました。

国立能楽堂「能舞台」が、この日は神楽のための「御神屋(みこうや)」として飾り付けられました。(写真:上左)

※今年度公演を行った『銀鏡神楽』は、宮崎県内の神楽で初めて国の重要無形民俗文化財に指定された神楽です。



満員の客席(下左)。ロビーでの物販も大盛況(下中)。最後は「御幣」をお渡し(下右)。

【全国神楽シンポジウム】

11月16-17日(土・日) 國學院大學(渋谷区)

【1日目:神楽シンポジウム】

神楽がもつ多様な文化の特色について考える学術シンポジウム。

國學院大學小川直之教授や神崎宣武氏の講演、多彩なパネラーによるパネルディスカッションが行われました。

【2日目:椎葉村・向山日当神楽公演】

日本三大秘境のひとつともいわれる椎葉村の向山日当神楽の公演が行われました。会場からの「せり歌」や来場者も参加しての「弓通し」など、厳かな中にも和やかな雰囲気漂う公演でした。



【国立劇場でのPR】

11月2日(土) - 25日(月) 国立劇場(千代田区)

盲目となった平家の勇士・景清が娘と再会する「日向嶋」の場面は、現在の宮崎県が舞台。ということで、歌舞伎公演『孤高勇士娘景清一日向嶋』の公演初日(11月2日・土)に、みやざき犬“ひいくん”が国立劇場マスコット“くろごちゃん”と一緒に国立劇場ロビーで来場者をお出迎えしました。

また、11月25日(月)までの公演期間中、ロビーにて宮崎物産販売、観光パンフ設置など宮崎県のPRを行いました。

「神話の源流パンフレット」などは、準備した分が初日でほとんどなくなるなど、国立劇場のお客様と「日向神話」の親和性が実感できる取組となりました。



外務大臣及び宮崎県知事共催レセプション

【観光・物産PR】

11月8日(金) 飯倉公館(港区麻布台)

11月8日、外務省飯倉公館において、外務大臣及び宮崎県知事共催レセプションが開催され、駐日外交団、駐日商工会議所、企業関係者他約250名が参加しました。

ステージでの高千穂の夜神楽、PRブースでの宮崎牛や本格焼酎の提供、生産量日本一の剣道胴着装着体験などを行い、来場された各国のみなさまに、「日向神話・神楽」「宮崎食材」「スポーツランド」など「日本のひなた宮崎県」の魅力をアピールしました。



川崎市木材利用イベント「やさしい木のひろば」

【物産PR】

10月5日(土) ラゾーナ川崎

川崎市主催の木に触れあうイベント「やさしい木のひろば」が開催され、川崎市と包括連携協定を締結する宮崎県も参加しました。

ワークショップやキッズスペース(ままごとキッチン、からから積み木など)をはじめ、パンフレット等を展示し、宮崎の木材をPRしました。



京急貸切列車「ほろよい宮崎ひなたトレイン」

【観光・物産PR】

11月23日(土・祝) 京急川崎駅、京急大師線

出荷量日本一の本格焼酎をはじめとする宮崎県産品や観光等、「日本のひなた宮崎県」の魅力を体感してもらうとともに、川崎市との連携協定についてPRを図るため、京浜急行電鉄での1日限りの貸切列車を運行しました。

首都圏からの参加者約70名が、宮崎県産の本格焼酎や宮崎ゆかりのメニューが入ったお弁当、宮崎県産の果物を使ったジェラート等を列車の中で味わいながら、蔵元によるミニ焼酎講座や宮崎県・川崎市に関するクイズ大会等のイベントを楽しみました。



楽天トラベル主催の「朝ごはんフェスティバル2019」が開催され、九州・沖縄地方の代表として『宮崎観光ホテル』が参加しました。えびの産ひのひかりと鮎甘露煮を使用した『みやざきの恵み あゆ甘露煮の焼きおにぎり』を提供。来場者の皆様に"宮崎の恵み"を味わっていただく有意義な機会となりました。

10月22日(火・祝)TMMT (天王洲アイル)



みやざき・霞ヶ関フォーラム

【ゆかりの方】

11月6日(水) 霞山会館

霞ヶ関の霞山会館にて、「東京はまゆう会」(国の府省庁等に勤務する宮崎県出身者、宮崎県在職経験者等で構成)の会員と県の幹部職員が交流する「みやざき・霞ヶ関フォーラム」を開催しました。1部での知事によるプレゼン、2部での交流会を通じて、有益な情報交換の機会となりました。

【1部 知事プレゼン】



【2部 交流会】



マイナビ就農フェスト

【UIJ関係】

今回の「マイナビ就農フェスト」では、『宮崎県特集』として、全22のブースのうち9つが宮崎からの出展。宮崎市、日南市、西都市、新富町、川南町、宮崎での就農・移住をサポートする団体等とともに、宮崎への就農促進をアピールしました。

12月21日(土) 新宿ミライナタワー



宮崎県農業経営支援課の日高課長が「日本のひなた宮崎県における農業について」と題して講演を行いました。



令和元年10月から12月において、東京事務所管内から次の企業が立地しました。

○株式会社コードモン(情報サービス産業:宮崎市)[新設]

保育園・幼稚園・学童等施設向けICTシステム「コードモン」の運営、カスタマーサポートを行う株式会社コードモン(本社:東京都港区)が宮崎市に事業所を新設します。令和3年度までに29名の新規雇用を予定しています。
企業HP: <https://www.codmon.co.jp>

○株式会社10バトン(情報サービス産業:宮崎市)[新設]

動画広告制作・運用、モデリング・アニメーション・エフェクト等のCGデザイン等を行う株式会社10バトン(本社:東京都渋谷区)が宮崎市に事業所を新設します。令和5年度までに19名の新規雇用を予定しています。
企業HP: <http://www.10baton.com/>

○株式会社フォースリー(情報サービス産業:宮崎市)[新設]

インターネット広告の運用事業を行う株式会社フォースリー(本社:東京都目黒区)が宮崎市に事業所を新設します。令和5年度までに40名の新規雇用を予定しています。
企業HP: <https://www.43s.co.jp/>

○株式会社ゼテックス(情報サービス産業:宮崎市)[新設]

自動二輪車による小荷物配送業、コインパーキングの設計・施工・補修及び管理、コインパーキング設備の販売・レンタル及び修理等を行う株式会社ゼテックス(本社:東京都北区)が宮崎市に事業所を新設します。令和3年度までに45名の新規雇用を予定しています。
企業HP: <https://www.zetex.co.jp>

○株式会社電子広告社(情報サービス産業:宮崎市)[新設]

インターネット広告運用事業(Web掲載広告の管理運営)等を行う株式会社電子広告社(本社:東京都港区)が宮崎市に事業所を新設します。令和5年度までに13名の新規雇用を予定しています。
企業HP: <https://dencco.jp>

○株式会社サポートス(情報サービス産業:都城市)[新設]

FileMakerシステム開発事業、BPOセンター事業を行う株式会社サポートス(本社:東京都千代田区)が都城市に事業所を新設します。令和4年度までに74名の新規雇用を予定しています。
企業HP: <https://supportas.co.jp>

○株式会社ミットヨ(製造業:宮崎市)[増設]

精密測定機器の製造、販売を行う株式会社ミットヨ(本社:神奈川県川崎市)が宮崎市の宮崎工場を増設します。令和5年度までに21名の新規雇用を予定しています。
企業HP: <https://www.mitutoyo.co.jp>

☆太陽と緑が輝く、未知数の可能性が広がる宮崎県で、未来へと飛翔するビジネスを始めてみませんか?東京事務所企業誘致担当までお気軽にご相談ください。※宮崎県立地環境・優遇制度等に関する情報は下記のサイトをご覧ください。<http://www.miyazaki-investment.com/>

編集後記

10月から12月も神楽公演やイベント列車、首都圏における宮崎ゆかりの方たちが集まる「ひなたフォーラム」が盛大に開催されるなど、イベント盛りだくさんでした。東京からの誘致企業もたくさん!おかげで編集後記欄が確保できないという、嬉しい悲鳴!(広報観光担当)



宮崎県東京事務所
〒102-0093
東京都千代田区平河町2-6-3
都道府県会館 15階
(tel) 03-5212-9007 / (fax) 03-5215-5180



←宮崎県は本格焼酎出荷量と売上高が日本一!
全国和牛能力共進会 3大会連続内閣総理大臣賞受賞→